

●「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」記入例

記載漏れ等の不備がある場合は、申込みできません。

- ①「確認書兼個人情報情報の取扱いに関する同意書」は、切り離すかコピーをとって使用してください。
※コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。
- ②記入を誤った場合は、誤った箇所を二重線で訂正し、余白に正しく書き直してください。
※修正液や修正テープ等は使用しないでください。
- ③署名は必ず自署にて記入してください。
※署名は判読できるように正しく楷書で記入してください。

住民票の住所が現住所（今お住まいの住所）と異なる場合でも現住所を記入してください。

奨学金申込日（西暦）を記入してください。（本書類を記入した日）

（西暦）2023年4月10日

該当する国籍又は在留資格を○で囲んでください。
※d～fの在留資格に該当する場合は、在留期限（在留期間の満了日）も記入してください。
※外国籍の人でb～f以外の在留資格「家族滞在」等の人は貸与の対象とはなりません。

学校名		学部・課程・分野	学科・専攻・研究科	学籍(学生証)番号
日本学生支援大学		経済	経済	123456
本 校 の 種 類	大学(学部)・大学院・短期大学 高等専門学校・専修学校専門課程	〒116-2000	電話番号(自宅) (携帯)	03(0000)0000 080(0000)9999
フリガナ	ショウガク タロウ	現住所	東京都新宿区市谷本村町10-7	
氏名	奨学太郎	生年月日	昭和(平成)15年5月1日	性別(任意) 男・女
国籍又は在留資格	a 日本国籍	b 法定特別永住者	c 永住者	d 定住者(永住の意思がある者に限る)
【該当を○で囲む】	f 永住者の配偶者等	※d～fの該当者は在留期限(在留期間の満了日)を記入(年 月)		

【個人情報同意事項】機構は、個人情報機関への登録及び利用は、延滞した場合のみ行います。
(個人情報機関の利用・登録等)
1. 私は、奨学金の返済が延滞した後は、下記の個人情報(その履歴を含む)が機構が加盟する個人情報機関に登録され、同機関及び同機関と提携する個人情報機関の加盟会員によって自己の与信取引上の判断(返済能力又は転居先の調査を含む)。ただし、返済能力に関する情報については返済能力の調査の目的に限る)のために利用されることに同意します。また、私は延滞した後は、機構が加盟する個人情報機関及び同機関と提携する個人情報機関に私の個人情報(当該各機関の加盟会員によって登録される契約内容、返済状況等の情報のほか、当該各機関によって登録される破産等の官報情報等を含む)が登録されている場合には、機構がそれを債権管理(転居先の調査を含む)のために利用することに同意します。

個人情報	登録期間
氏名、生年月日、性別、住所(郵便不届の有無等を含む)、電話番号、勤務先等の本人情報	下記の情報のいずれかが登録されている期間
貸与金額、貸与日、最終返済日等の本契約の内容及びその返済状況(延滞、代位弁済、強制回収手続き、完済等の事実を含む)の情報	延滞発生から本契約期間中及び本契約終了日(完済していない場合は完済日)から5年を超えない期間
機構が加盟する個人情報機関を利用した日及び本契約又はその申込の内容等	当該利用日から1年を超えない期間
官報の情報	破産手続開始決定を受けた日から7年を超えない期間
登録情報に関する苦情を受理調査中である旨の情報	当該調査中の期間
本人確認資料の紛失・盗難等の本人申告の情報	本人から申告のあった日から5年を超えない期間

2. 私は、前項の個人情報、その正確性・最新性維持、苦情処理、個人情報機関による加盟会員に対する規則遵守状況のモニタリング等、個人情報の保護と適正な利用の確保のために必要な範囲内において、個人情報機関及びその加盟会員によって相互に提供又は利用されることに同意します。
3. 前2項に規定する個人情報機関は次のとおりです。各機関の加盟資格、会員名等は各機関のホームページに掲載されており、なお、個人情報機関に登録されている情報の開示は、各機関で行います(機構ではできません)。
①機構が加盟する個人情報機関：全国銀行個人情報センター <https://www.zenginkyo.or.jp/pcic/>
②同機関と提携する個人情報機関
・ ㈱日本信用情報機構 <https://www.jicc.co.jp> ・ ㈱シー・アイ・シー <https://www.cic.co.jp>
(代位弁済後の情報提供について)
4. 私は、機構に対し、私が保証委託契約を締結した委託先から機構が代位弁済後の完済等の情報を取得し、これを個人情報機関に提供することを依頼し、その情報が個人情報機関に登録されることに同意します。

左記の個人情報機関では、本書面の書き方を含め奨学金に関するご質問にはお答えできません。

電話番号は、自宅・携帯とも記入してください。
所有していない場合は、自宅・携帯それぞれの欄に「電話なし」と記入してください。

重要

採用後、奨学生本人と日本学生支援機構との金銭消費貸借契約を明確にする契約書である「返還誓約書」と添付書類を定められた期限までに提出する必要があります。

添付書類は選択する保証制度により異なります。

保証制度の詳細については本冊子の第1部を、添付書類の詳細については本冊子の第3部を参照してください。

●給付奨学金確認書の記入例

記載漏れ等の不備がある場合は、申込みできません。

- ①給付奨学金確認書は、切り離すかコピーをとって使用してください。
 ※コピーして使用する場合は、必ず裏面の約款も両面コピーしたものを使用してください。
- ②記入を誤った場合は、誤った箇所を二重線で訂正し、余白に正しく書き直してください。
 ※修正液や修正テープ等は使用しないでください。
 ※署名は判読できるように正しく楷書で記入してください。
- ③申込者本人の署名は必ず自署にて記入してください。

必ず記入してください。

住民票の住所が現住所（今お住まいの住所）と異なる場合でも現住所を記入してください。

奨学金申込日（西暦）を記入してください（本書類を記入した日）。

「マイナンバー提出書」に記載の申込ID		Z D 2 3	提出年月日(西暦) 2023年4月10日	
申込者本人	学校名	学部・課程・分野	攻専・科学	学籍(学生証)番号
	日本学生支援大学	経済	経済	123456
	フリガナ	〒162-0000		電話番号(自宅) 03(0000)0000 (携帯) 080(0000)9999
	氏名 漢字	東京都新宿区市谷本村町10-7		
氏名 フリガナ	奨学太郎		生年月日	昭和(平成)16年5月1日
性別(任意)	男・女			
国籍又は在留資格 【該当を○で囲む】		a 日本国籍 b 法定特別永住者 c 永住者 d 定住者(永住の意思がある者に限る) e 日本人の配偶者等 f 永住者の配偶者等 ※d~fの該当者は在留期限(在留期間の満了日)を記入(年 月)		

※現住所（今お住まいの住所）は正しく記入してください。「同上」、「本人と同じ」、「〇」等は認められません。

生計維持者	1	氏名	奨学 一郎	生年月日	昭和(平成)46年2月2日	本人との続柄	父
	現住所	(〒135-8630) 東京都江東区青海2-2-1					
2	氏名	奨学 花子	生年月日	昭和(平成)48年3月3日	本人との続柄	母	
現住所	(〒135-8630) 東京都江東区青海2-2-1						
本人と生計維持者の資産の合計額		2,000万円未満(生計維持者が1人の場合は1,250万円未満)					

重要
 インターネットで入力する生計維持者及びマイナンバー提出書へ記載する生計維持者は、確認書に記載した生計維持者と**必ず同一**としてください。
 あなたとあなたの生計維持者の資産の合計額が記載のとおりであることを確認してください。

該当する国籍又は在留資格を○で囲んでください。
 ※d~fの在留資格に該当する場合は、在留期限(在留期間の満了日)も記入してください。
 ※外国籍の人でb~f以外の在留資格(「家族滞在」等)の人は支援対象となりません。